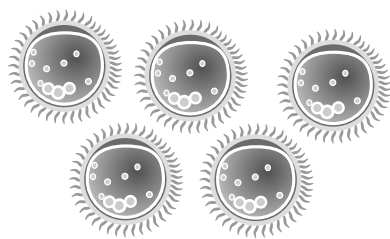


チャック付きポリぶくろを使ったメダカの受精卵(じゅせいらん)観察法

年 組 番 名 前

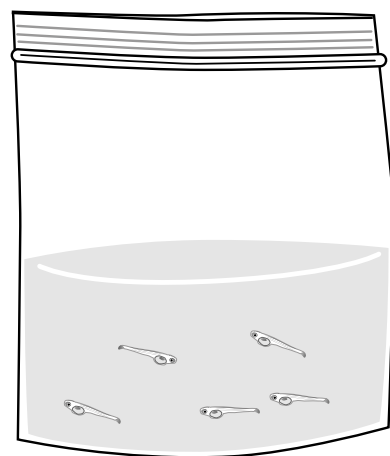
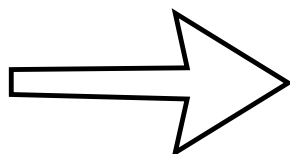
- ① 受精卵(じゅせいらん)をろ紙の上に置き、指のはらでころころ転がすと、たまごの表面に付いていたゴミなどがとれる。
- ② チャック付きポリぶくろ(50mm×70mm)を用意し、その中に水道水10mlと①でゴミをとった受精卵(じゅせいらん)を5個入れる。(図)
- ③ ぶくろの中の空気を出しながら、チャックをしめる。
- ④ ぶくろに油性ペンで日付と名前を書いておく。
- ⑤ このまま約10日間で子メダカが生まれる。とちゅう、水をかえたりしない。
- ⑥ ぶくろを解剖顕微鏡(かいぼうけんびきょう)の上ののせて、いつでも好きな時に直接観察することができる。
- ⑦ 子メダカが生まれたら、水温を同じにしたくみ置き水の水そうに静かに入れる。



↓ 受精卵(じゅせいらん)5個



水道水10ml



【メダカのたまご 観察記録】

年 組 番 名 前

月 日 () 日目 水温 ℃

気づいたこと
